

まい きょう し

舞響詩「田園」

～踊る、鳴らす、詩う～



(令和7年)

2025年11月23日(日・祝)

①12:30開演 ②15:00開演

デフリンピックスクエア：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 小ホール

まい きょう し 舞 韶 詩 「田園」

ベートーヴェンの交響曲第6番を題材に創り上げた
私たちの新しい舞台作品をお楽しみください！

第1楽章

自然のなかへ…
花、草、海、木、鳥、風と出会う。

第2楽章

小川のほとり。
鳥たちはつばさをひろげて
空へ飛びたつ。

第3楽章

村人のおどり、太鼓のひびき。

ダンスチームが、太鼓のひびきを感じて
村人たちの喜びを表現します

第4楽章

嵐がやってきた！
つよい雨、鳴りひびく雷、
吹きあれる風！

打楽器チームが、時に厳しい自然、
激しい感情を表現します

第5楽章

嵐は去り、静けさのなかに
平和がもどります。
自然といっしょに
心は舞い、響き、詩う。

てことばチームが、手話をベースにして、
自然のさまざまなモチーフを表現します

公演によせて

自然を愛したベートーヴェンは、美しい森に囲まれた田舎の村に滞在し、そこで深いインスピレーションを受けて作曲しました。交響曲第6番「田園」では、5つの楽章を通して“自然のさまざまな情景”や“自然の中で感じる心の動き”が描かれています。今回、私たちはこの「田園」を題材に、私たちなりの感性で新たな舞台作品を創り上げました。講師と子供たちが創作と稽古を重ねて生み出した5つの楽章がつながり、ひとつの物語となって、皆さんを自然の世界へと誘います。

企画・構成・演出 桜井しおり 野口綾子

各講師よりメッセージ

さまざまな音を感じ、
動きやことばが重なりあい
ひとつの世界が生まれました。

子供たちの一生懸命な姿と輝く笑顔が、
この作品をいっそう豊かで温かなものにしてくれました。

私自身もたくさんの元気と学びをいただきました。

音が見え、想いが響く、
そんな瞬間が皆さん的心にも
届きますように。

MAHO(ダンスチーム講師)

DEAFの世界にルーツを持つ打楽器奏者として、この舞台に携われたことを心から嬉しく思います。リズムやおんがく(Music)、そしてそれらを表現する行為は、聞こえる・聞こえないを問わず、誰のものでもあります。子供たちが自分たちのリズム感でのびのびと楽器を操る姿と、ハンドサインによる合奏を通じて生み出す「響き」などを、ぜひお楽しみください。

藤井 健(打楽器チーム講師)

てことばチームは、ベートーヴェンが見た田園の風景を、サインポエトリー(手話による視覚的な詩)という手法で表現しています。手話という「ことば」や「手」が音楽を表現する可能性を子供たちと共に考え、創ってきました。それぞれ日常のきらめきと、200年前のベートーヴェンの視点がふと重なる瞬間を積み重ね、深く豊かな“おんがく”となりました。

Sasa-Marie(てことばチーム講師)

デフリンピックスクエアとは

大会期間中、運営や輸送、選手同士の交流など様々な機能を集約した拠点として「デフリンピックスクエア」を国立オリンピック記念青少年総合センターに設置します。大会運営本部、輸送のハブ、メディアセンター、練習会場等の機能をもつ大会運営拠点に加え、多くの皆さまが楽しみながらデジタル技術を活用したユニバーサルコミュニケーションや交流、東京の芸術文化を体験できる機会など、選手や来場者向けの様々なプログラムを展開します。

オールウェルカム TOKYO とは

～感動と共感が、東京を、未来を、変えていく。みんなでつなげるサポートの輪。～
オールウェルカムTOKYO は、芸術文化を中心に、アクセシビリティ向上に取り組むみなさまとともに、障害の有無や、言語・文化の違いを超えて、もっとだれもが楽しめる東京を目指すキャンペーンです。



特設サイト▶



出演者プロフィール



企画・構成・演出・ピアノ

桜井しおり

(東京文化会館ワークショップ・リーダー)



MAHO

デフダンサー
(ダンスチーム講師)



Sasa-Marie

ろう詩人
(てことばチーム講師)



齋藤 紗乃

パーカッショニスト
(打楽器チーム講師、東京文化会館ワークショップ・リーダー)

桐朋学園大学音楽学部卒業。2012年に音楽ワークショップ・アーティスト「おとみっく」を発足し、これまで500公演を実施、延べ4万人以上が参加。国内のみならず海外での音楽フェスティバルやプロジェクトに出演。2024年度に(一社)IROHAMOを設立し、アーティスト・ディレクターに就任。近年はオーケストラと共に演じ、子供向け公演の司会も担当。(一財)地域創造音楽活性化事業コーディネーター。



企画・構成・演出・ピアノ

野口綾子

(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

神奈川県出身。フェリス女学院大学音楽学部音楽芸術学科卒業。音楽学、ピアノ演奏、幼稚園や病院・老人ホームでの訪問演奏会の企画実施などを学ぶ。卒業後、リトミック指導法や、様々な音楽ワークショップの手法を国内外の指導者から学ぶ。現在、文化施設や幼稚園・学校・特別支援学校・福祉施設等で音楽ワークショップを行なっている。また、オーケストラの教育普及及公演のナビゲーター、国際音楽祭の子供向けコンサートやワークショップの企画制作も手がけている。



YUTO

デフダンサー
(ダンスチーム講師)

4歳でヒップホップダンスを始め、8歳からはブレイクダンスも並行して学ぶ。現在は両ジャンルを軸に活動中。東京2020パラリンピック開閉会式、NHK「Eダンスアカデミー」、日本テレビ「24時間テレビ」(2018年・2023年)などに出演。2024年「True Colors Special Live」で、新しい学校のリーダーズをはじめ多様なアーティストと共に演じ。全国各地でのワークショップやパフォーマンスは100回を超える。現在は聴者の妹とともに活動の幅を広げている。



藤井 健

パーカッショニスト・CODA
(打楽器チーム講師)

Children of Deaf Adults (CODA)の出自を持つパーカッショニスト。12歳より打楽器を始め、大学在学中に30超の音楽団体を遍歴する中でワールドミュージックの熏陶を受ける。ハンドサインによる即興演奏法を用いた打楽器集団「LA SEÑAS」所属。パエトリー・パフォーマンスグループ「でんちゅう組」への参加を通じ、ろう者・難聴者にとっての音楽というテーマに聴者の視点から関心を深める。



宮楠 菜穂

サクソフォニスト
(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

和歌山県出身。昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科演奏家Ⅰコース卒業。サクソフォンを福田亨、松原孝政、神保佳祐の各氏に師事。第26回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。NPO法人ワールドシップ2023フィリピンプロジェクトにてソリストを務める。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドに第8期生として3年間籍を籍し、研鑽を積んだ。現在、東京文化会館ワークショップ・研修リーダー。

Seras Saxophone Quartetメンバー。

講師プロフィール



北海道札幌市出身。フリーランスのろう俳優として様々な舞台、テレビ、映画、手話関連の映像などに出演。2023年4月 めでみるコトバの住人として Sasa-Marie と『ミナテマリ』で、サインポエトリー や サインミュージックのステージを中心に、てことば・てあそび WS やおとなど子供の「見るみる非言語 WS」など各種ワークショップも全国各地で意欲的に活動を広げている。

Yumiko Mary Kawai

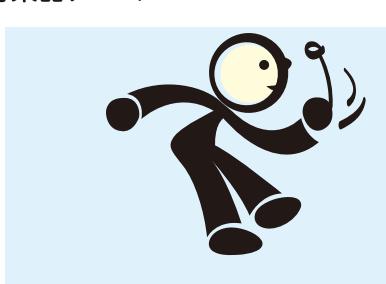
ろう俳優
(てことばチーム講師)

公募で集まった、ろう者・難聴者・CODA*・SODA** の小学生～高校生 計18名

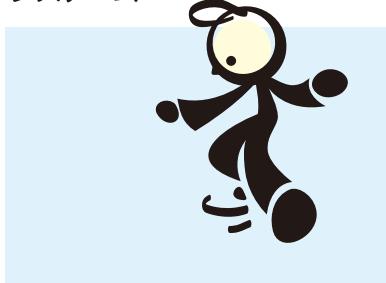
てことばチーム



打楽器チーム



ダンスチーム



* CODA…ろう者の親を持つ聞こえる子供

** SODA…ろう者の兄弟姉妹を持つ聞こえる人

ダンスチームは大田区民ホール・アプロ（公益財団法人大田区文化振興協会）、てことばチームはFSXホール（くにたち市民芸術小ホール）、打楽器チームは東京文化会館を中心に、8月から今日まで稽古を重ねてきました。アイディアを出し合ったり、上手くいかないところを何度もやり直したり、諦めずにコミュニケーションを取ってたくさん練習しました。

それぞれの表現がだんだん固まってきて、いよいよ3チームが集まり、一つの舞台を披露します。



© 鈴木穎哉

- ・衣裳：増田恵美（モマ・ワークショップ）・照明：望月太介（ASG）・舞台監督：穂積千寿（ザ・スタッフ）・演出助手：牛頭奈織美
- ・衣裳製作：寺田和恵（モマ・ワークショップ）・手話通訳：石川あいす、岡島珠実、加藤裕子、瀬戸 勇、瀬戸口裕子、平原礼奈

主催：東京都／東京文化会館（公益財団法人東京都歴史文化財団）

企画制作：東京文化会館 事業係

𝕏 @tbunka_official

オンラインでもアンケートのご回答が可能です。
右記 QR コードよりご利用ください。→

